

# SCIE SI2004 予稿原稿の書き方 (サンプル)

(社)計測自動制御学会 システムインテグレーション部門 計測 太郎, 制御 花子

## Instruction for SICE SI2004 Annual Conference Manuscript

Taro KEISOKU and Hanako SEIGYO System Integration Division, SICE

Abstract: This manuscript describes a method for preparing a manuscript for the annual conference of the SI2004 (SICE). Based of this manuscript, please make up will be published in CD-ROM Press.

### 1 . 緒言

本稿では SICE SI 部門講演会 SI2004 の予稿原稿を作成するための説明を行います。SI2004 では予稿原稿として PDF ファイル形式のファイルを電子投稿していただく事を原則とさせていただきます。ただし、電子化やネットワーク接続が困難な場合には個別に対応させていただきますので、プログラム委員会までご相談下さい。

### 2 . 原稿作成方法

#### 2.1 原稿枚数, ファイル形式とファイル容量

原稿は 1 講演につき 2 ページとなります。(ただし、2 講演分のキーノート講演に関しては最大 4 ページです。)提出していただく原稿のファイル形式は原則として PDF 形式といたします。PDF 形式することが不可能な場合には、その他の形式でファイルをお受けし、プログラム委員会側で PDF 化いたします。(ただし、フォントなどのトラブルの責任は負いかねます。)また、原稿完成時のファイルサイズは PDF 形式で 700KB 程度を上限の目安とさせていただきます。原稿送付時には 2 MB 程度まで受け付けますが、その場合には全体の原稿の総容量によっては再提出をお願いする場合がありますので、ご了承下さい。

#### 2.2 用紙サイズ, 書式など

##### 2.2.1 原稿の体裁

用紙サイズは A4 版(縦 295.7mm×横 210.0mm)とし、余白部分は左右 15mm, 上 20mm, 下 25.7mm を確保して下さい。(プログラム委員会側でヘッダ・フッタ部分に情報を追加する予定ですので、ご注意下さい。)よって、原稿作成領域は縦 250mm×横 180mm の枠内となります。

##### 2.2.2 基本書式

原稿の記載内容は、下記の順序とします。

- 1) 和文題名(英文原稿の場合には不要, 16pt ゴシックフォント推奨, センタリング)
- 2) 和文著者名・所属(英文原稿の場合には不要, 12pt 明朝フォント推奨, センタリング, 登壇者に を付加)
- 3) 英文題目(16pt Times-Roman 推奨, センタリング)
- 4) 英文著者名・所属(12pt 明朝フォント推奨, センタリ

ング, 登壇者に を付加)

- 5) 英文アブストラクト(10pt Times-Roman 推奨, 3 ~ 5 行程度, 文章両側を 10mm 程度インデント)
  - 6) 本文(本文文章は 9pt 明朝フォント推奨, 章見出しは 9 ~ 12pt 程度のゴシックフォント推奨)
  - 7) 参考文献(9pt 明朝フォント推奨)
- なお, 1) ~ 5) の英文アブストラクトの部分までを 1 段組, 6) ~ 7) の本文からを 2 段組として下さい。

##### 2.2.3 図と表について

予稿は PDF ファイルとなりますので、図や表はカラーで作成していただいても構いません。ただし、ファイルサイズの制限にご注意下さい。図のキャプションは図の下に Fig.1, Fig.2 という具合に、表のキャプションは表の上に Table 1, Table 2 という具合にお付け下さい。(英語表記, フォントは 10pt Times-Roman 推奨)

### 3 . 緒言

本稿はあくまで予稿原稿を作成するためのガイドラインを示したものです。改行幅やフォントの設定などについては、原稿の内容や量にあわせて適宜判断していただき、原稿を作成してください。